STRATEGIC BUSINESS INSIGHTS

FUTURE SQUARE

フューチャー・スクエア

〒102-0082 東京都千代田区一番町2 パークサイドハウス3階 電話:03-3222-6501 FAX: 03-3222-6508
URL: http://tokyo.strategicbusinessinsights.com 発行責任者:徳重桃子

No.88

2010 年 7 月

クラウド・デバイスの時代がやってくる

賑やかになる市場に「変化の予兆」を捉え
コネクテッド・ライフの進化に参加する機会を探れ

米出版社協会（ＡＡＰ）が発表したところによると、2009 年の米国での全書籍売上高が低迷するなか、電子書籍の売上高が前年に比べて約 2.8 倍の約 3 億 1300 万 ドル（約 290 億円）に達したという。このような傾向が現れた背景に Amazon の Kindle、Sony の Reader 等の、電子ブックの普及があることは明らかであろう。Amazon が iPhone 用に Kindle ソフトを展開し、この 4 月には Apple が iPad を投入する等、市場はさらなる賑わいを見せている。書籍全体の売上げが 238.6 億ドルであることを考えると、変化は始まったばかりとも言えるが、毎日ネット上に溢れる天文学的な量の文字、画像、動画、ゲームなどが、これらのデバイスを通じて手軽に入手でき、好きな時に好きな場所で十分に大きな画面で利用できる環境が提供された事実は、生活者が大きな変化の中に置かれていることを強く予感させる。クラウド・デバイスと共に暮らす生活の始まりである。

iPad 登場。そのクラウド・コンピューティング的意味とは？

利用者がほとんど意識することなく、様々なサーバーから繰り出されるサービスを、ネットワークを通じて享受するコンピュータ利用の形態を「クラウド・コンピューティング」と呼ぶ人たちがいる。この環境では、利用者から見たネットワークは雲のように漠とした存在で、その中で何が起こっているかを考えさせない。この発想は、ネットネットワークの歴史と同じくらい古いが、ブロードバンド接続を前提にした生活が一般化してきた昨今、一躍バズワードとして認知されるようになった。

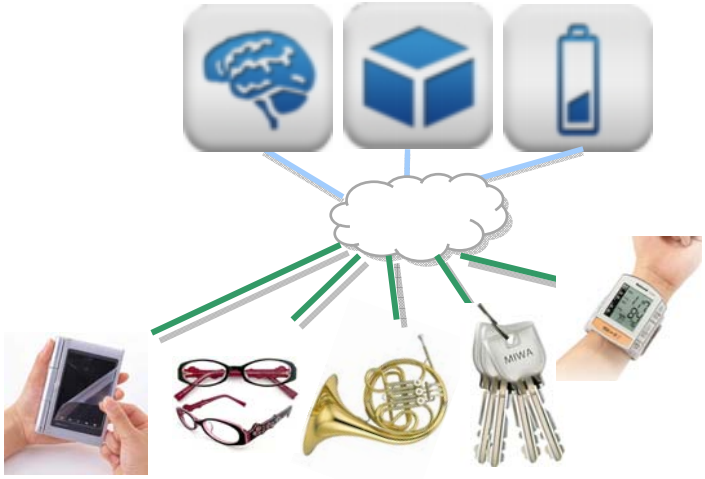
今までネットワークに接続されるデバイスの代表は、PC であり携帯電話であった。しかし、PC は多様な機能を利用できる反面、一定レベル以上の習熟が必要であるうえ、モバイル PC であっても利用環境に大きな制約があった。手軽さという面で圧倒的に有利な携帯電話ではあるが、小さな表示画面と複雑なボタン操作という欠点だけとっても、既にネット上で数多く提供されている魅力的なサービスに到達できる人の数を、大きく制限する十分な理由になってきた。

Jobs のようなカリスマがリードする Apple にとって、こんな不完全なネットワーク生活など、突っ込みどころ満載のターゲットであったに違いない。広い画面の iPhone は、単純な操作でメール、地図、時刻表、新聞など、ネット上のリソースがストレスなく利用できる。そのうえ多様なソフトを追加することにより、信じられないほど簡単にユーザーが体験できる世界を変えていった。Jobs が頭の中に描いた、流れるようなコネクテッド・ライフへの入り口が鮮やかに姿を現した瞬間だった。Apple は iPad を世に問うことにより、この路線をさらに明確に印象付け、クラウドに接続する端末「クラウド・デバイス」の競争で大きく他を引き離したようだ。

クラウド・デバイス

クラウド・コンピューティングは、様々なリソースをネットワークを通じて利用者に提供してくれるため、端末側の能力を最小限に留めることができる。極端な話しをすれば、Intelligence(知性)と Storage（記憶）と Power（エネルギー）をネットワークに依存することで、身の回りのあらゆるモノにコンピューティングの恩恵を授けることができると言うことだ。こうした環境変化は、間違いなく人々の創造力を刺激する。様々なレベルで知性を持った日用品が出現しはじめれば、今 iPad の周辺で起こっている現象以上の規模と速度で、生活シーンの進化が始まる可能性が生じるだろう。

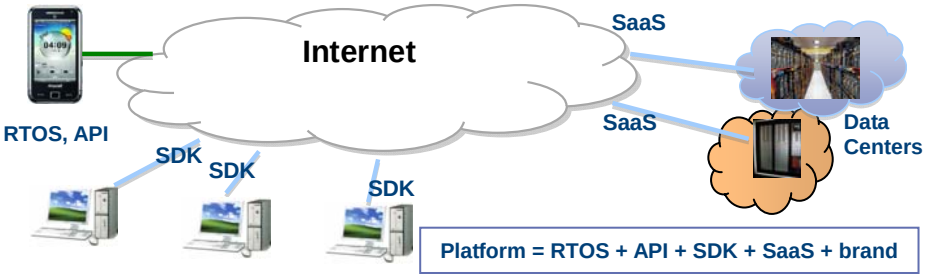
いわゆるモノのインターネット化だ。



身の回りにあるモノを眺めてください。
あなたなら、そのモノに何をさせたいですか？

クラウド・デバイスに命を与えるビジネス・エコシステム

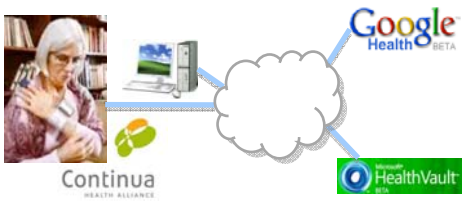
Apple は、iPhone や iPad を市場に投入するにあたり、クラウド・コンピューティングを前提としたバーチャルな協業体制をとった。リアルタイムに動作する OS（RTOS）と API を準備した上で、利用者にストレスを感じさせないインターフェースを持ったデバイスを提供したが、搭載するソフトの開発は、開発キット（SDK）を公開し、アイディアを持った世界中の開発者の発想に委ねた。また、地図や乗り換え案内、電子辞書など、ALC や Google、ジョルダンなどが提供する SaaS は今までのキャリア同様、積極的に取り込んでいる。



こうした協業体制の全体像を見ると、参加事業者が絡み合って生態系（エコシステム）を形成している姿が浮かび上がる。実はこうしたエコシステムは、Apple だけの専売特許ではない。Amazon の Kindle や、Blackberry なども類似のエコシステムを持ち、それをプラットフォームにしてビジネスを構築している。ただ、今回の Apple の成功を特に目立たせたのは、Apple 自身が提供している SaaS である iTunes Store なのかもしれない。音楽などのコンテンツを全て自前の流通経路を通るように設計し商権をコントロールするモデルを構築し、古い考えを捨てきれない業界を粘り強く説得したところに、Apple の先見性と並外れた執着心を見るのは、私だけではないだろう。

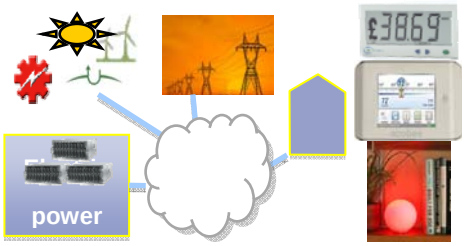
クラウド・デバイスの未来

このように Apple の作り出したエコシステムは、他のどのエコシステムより強固で安泰なものに見える。Apple というブランド力が、システム全体の健全性を向上させるのに大きな役回りを果たしているのも事実だ。それだけに今、Apple の一人勝ちを止めることは、天地をひっくり返すほど難しいものに見えるかもしれない。しかし、一見オープンに見えて、Jobs の美学を押し通そうとして極端に閉鎖的になる傾向を持っているこのシステムの内側に、瓦解の可能性が潜んでいると指摘するアナリストも多い。完成品の提案を強要されているソフトウェア開発者は、ソフトが採用されなかった場合、開発コストを被らなければならない。Apple が Adobe Flash の採用を頑として受け入れないため、多くの動画サイトが利用できないことに、ユーザーは不満を持っている。ひとたび Google が音声通話サービスに参入して来ると Google Voice を使えなくするなど、エコシステムの良き協力者 Google との仲も怪しくなってきた。エコシステムのそこここに小さな火種が燻る風景に、Macintosh が Microsoft に敗れた姿がデジャブのように重なる。Google は既に携帯用 OS として Android を公開しており、ソフト開発競争に疲弊するデバイスメーカーの間に静かに浸透しつつある。完全に開かれた環境から生まれてくるエコシステムと Apple 王国の競争が表面化する日は、そう遠くないかもしれない。



今、Apple が手をつけている領域が、クラウド・コンピューティングの宇宙のほんの一部だと認識することも重要だ。例えば、ヘルスケアの領域では、Google が関与するエコシステムが芽生えているし、エネルギーの領域では、スマートグリッドという概念が議論されており、インフラからサービスまで幅広い産業に影響が及んでくるに従い、新しいエコシステムの開発を伴いつつ、多様なクラウド・デバイスが生まれてくることが期待できる。

私達が Scan プログラムのお客様とモバイルセントリックなネットワークが支配する世の中に変化していく予兆を話し始めたのが、２年前。iPhone の様々なアプリケーションが話題を呼び始めた頃である。Apple は iPad へ展開を広げクラウド・デバイスの中心に押し上げることにより、PC セントリックなネットワークの黄昏を演出している気配さえ感じる。そうであるなら、なおさらサービスと一体化したクラウド・デバイスの市場は一社が独占できるほど小さな世界に留まるわけがない。



プラットフォームのオーナーにはもちろん、多くの参加者たちにも幅広い事業機会を提供しながら、未来は私達の前に大きく広がっている。モバイル機器の進化と並行して進むだろうモノのインターネット化は、プリンテッド・エレクトロニクスへの要求も高め、現在の IT の常識を根底から覆していく可能性すら秘めている。

クラウド・デバイスの歴史は、今動き始めたばかりである。様々な変化の予兆を敏感に捉えるべき時だろう。

弊社では、クラウド・デバイスやコネクテッド・ライフなどに限らず、人々の生活に大きな変化をもたらす動きを様々な視点で観察する段階から、それらの変化から読み取れるビジネスチャンスに向かいお客様が自らの行動に繋げていく道筋をつくるところまで、一貫したお手伝いができる体制を整えています。
サービスにご関心のある方は、下記までご連絡ください。
高内　章　/　インテリジェンス・エヴァンジェリスト
m@il: atakauchi@sbi-i.com　TEL: 03-3222-6503